

このように使います

平成20年度市の予算

市では、1年間を1つの単位としてどんな仕事に、いくらお金が必要なのか、そのお金をどのように調達するのかという予算を立てます。平成20年度の市の予算をお知らせします。

☎財政課 ☎643・3111 内線352

一般会計は実質5・6%の増加

平成20年度の市の当初予算が市議会2月定例会で約1カ月間にわたって審議され、3月21日に可決されました。

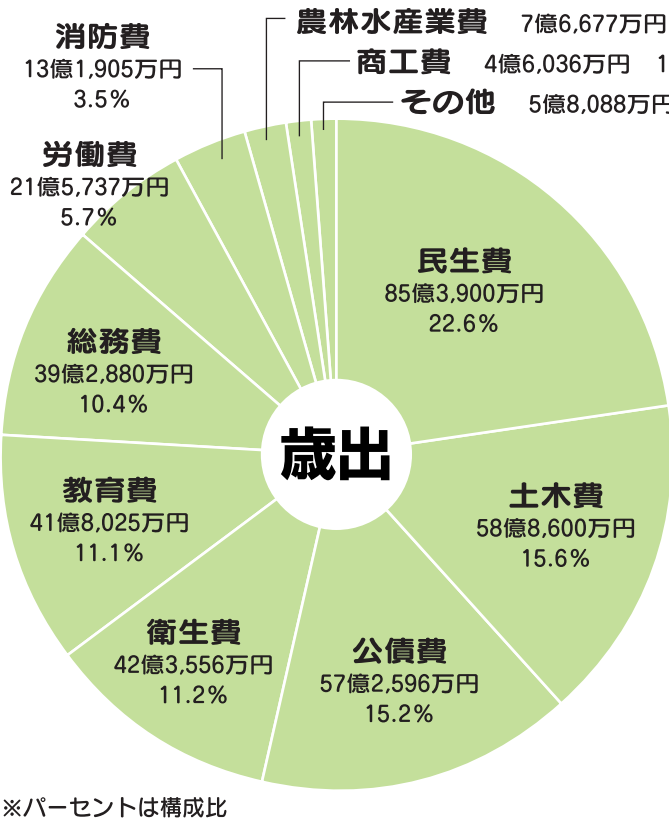
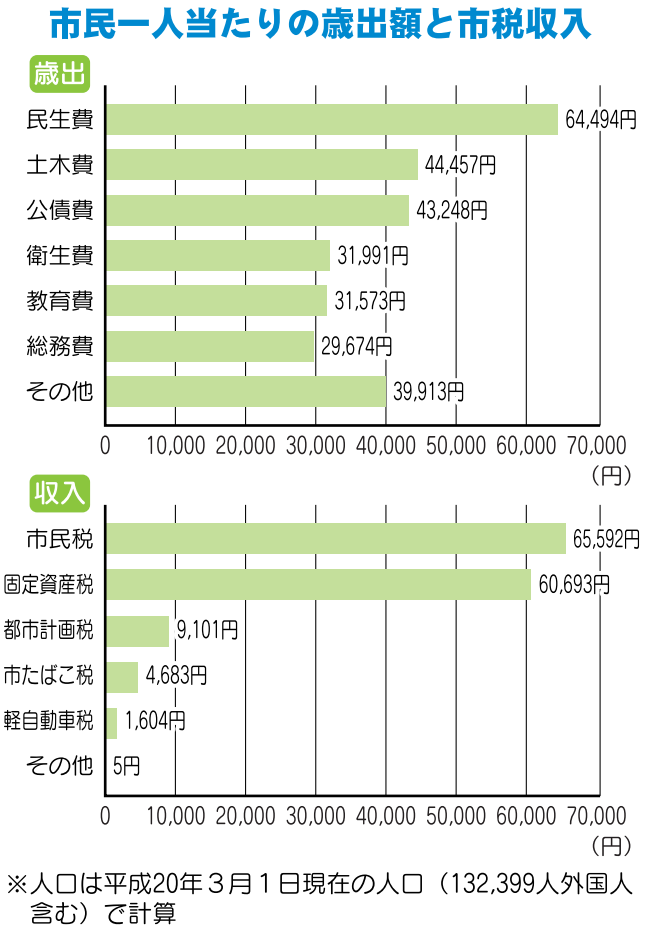
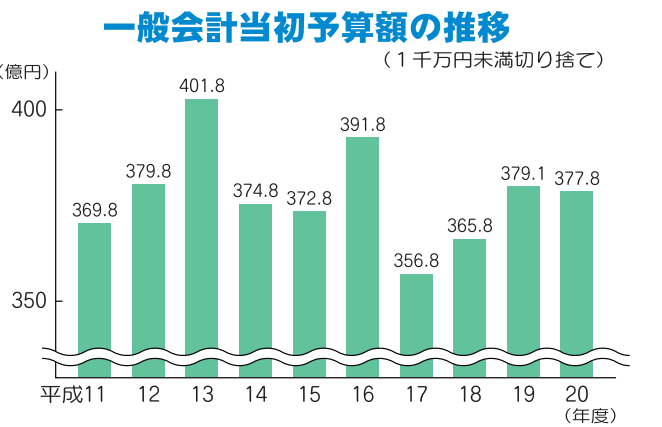
景気回復による市民税収入の伸びにはいまだ不透明感が残るなか、固定資産税の増収による市税収入の伸びや、地方再生対策費の創設・合併準備経費の算入により、地方交付税の増加が見込める一方、昨年以上の基金繰入金を計上した厳しい財政環境のもと、限られた財源の重点的・効率的な配分に心掛けて予算編成をした結果、一般会計予算額は、377億8000万円となり、前年度に対し0・4%の減少となりました。

このうち前年度予算から、藤枝駅南の旧志太病院跡地5750㎡の土地購入費21億円余りを除いた実質では、5・6%増加の予算となりました。

全会計では4・6%の減少

特別会計は、新たに後期高齢者医療特別会計が加わり、9会計で256億8160万円、公営企業会計の2会計では、190億9600万円となり、全会計の合計は、825億5760万円で、前年度予算より4・6%減少となりました。

特別会計・企業会計予算額 ▲はマイナス		
会計名	予算額	前年度対比
	一般会計からの繰入金	
特別会計	256億8,160万円	▲14.1%
	33億3,172万円	▲17.4%
	106億6,800万円	▲1.4%
	5億3,123万円	▲10.1%
	540万円	0.0%
	414万円	▲0.1%
	4,900万円	▲25.8%
	—	—
	52億4,700万円	42.9%
	14億1,311万円	▲19.8%
	2,400万円	14.3%
	—	—
	12億1,800万円	▲85.4%
	8,985万円	▲85.8%
	5億6,200万円	14.0%
	8,463万円	34.8%
企業会計	68億5,300万円	5.7%
	10億5,820万円	7.6%
	10億5,520万円	—
	1億5,056万円	—
	190億9,600万円	2.2%
一般会計からの繰入金合計	13億9,300万円	11.4%
	159億7,800万円	2.8%
	13億9,300万円	11.4%
	31億1,800万円	▲0.8%
	—	—



■用語解説

民生費／乳幼児やお年寄り、体の弱い人などを支援する経費です。

土木費／道路や公園などを整備・維持するための経費です。

公債費／市債(市の借金)の借入金の返済の経費です。

衛生費／ごみ・し尿処理や予防接種などの経費です。

教育費／小・中学校や公民館などの整備や活動を行うための経費です。

総務費／財産管理や企画・税務事務などの経費です。

労働費／労働対策などの経費です。

消防費／消火・救急活動などの経費です。

農林水産業費／農林業の振興などの経費です。

商工費／商工業の振興などの経費です。

その他／議会費・諸支出金・災害復旧費などです。

一般会計当初予算額

377億8,000万円

■用語解説

自主財源／市が自主的に収入できるお金で、これが多いほど自治体としての自主性と安定性が確保できていることになります。

依存財源／国や県などの方針で決められているお金や市債など、市が自分以外のところに頼る財源です。

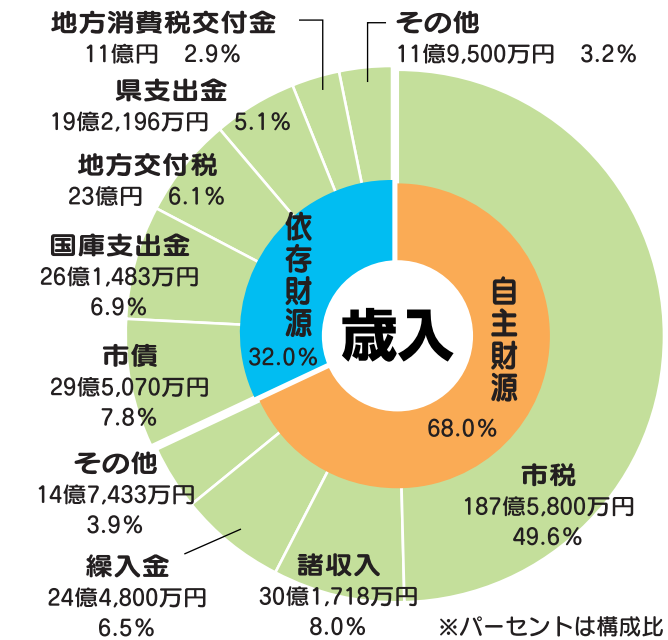
市税／皆さんに納めていただく税金です。

諸収入／預金利子など、他の歳入科目に含まれていない収入です。

市債／国や銀行からの長期借入金です。

国庫支出金・県支出金／市の事業に対する国や県からの補助金や負担金です。

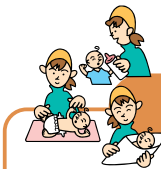
地方交付税／各地方自治体の財政均衡を図るため、県や市町村の財政力に応じて国から交付されるお金です。





心ふれあう福祉と健康づくり

★新規事業 ◆拡大事業



子育て支援

安心して子どもを育てられる環境づくりに取り組みます。

◆こども医療費助成【3億8,700万円】

「こども医療費助成」(平成19年度までは「乳幼児医療費助成」)の対象を、入院・通院とも小学校卒業までに拡大します。(詳しくは9ページ参照)

◆妊婦検診の充実【3,720万円】

安心して出産を迎えられる環境づくりとして、妊婦検診の助成を2回から5回に拡大します。

★育児サポーター派遣事業【496万円】

生後間もない子どもを持つ親に対して、保育士が家庭を訪問し、育児援助・相談をサポートします。

◆こんには赤ちゃん事業【34万円】

生後4カ月までの子どもを持つすべての家庭に保健師などが訪問し、子育てに関するさまざまな不安や悩みなどに対する助言や情報提供を行います。

施設の充実



障害者への自立支援の促進に積極的に努めるとともに、新たに共同生活介護施設の開設支援、地域活動支援センターなどの施設へ助成します。

★共同生活介護施設の開設支援【30万円】

★地域活動支援センターへの助成【338万円】

★第一すみの家耐震改修への助成【1,000万円】

★公設放課後児童クラブ施設整備【3,504万円】

青島東・瀬戸谷・葉梨西北小学校。

★高洲南幼稚園園舎改築工事への助成【2,000万円】

環境対策



一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの減量化対策などに取り組むとともに、南部リサイクルステーションの開設や市内事業者への「エコアクション21」認証取得の普及推進に努めていきます。

★南部リサイクルステーションの開設【691万円】

高齢者対策



4月から始まる後期高齢者医療制度や特定健康診査の受診体制づくりなどに取り組みます。

★後期高齢者医療広域連合への医療公費負担金

【5億8,778万円】

★特定健康診査【9,923万円】

安心して受けられる医療の充実



市立総合病院につきましては、市立病院としての役割と責任を重く受け止め、市民の皆さんに信頼される病院を目指して、地域医療を守るため充実した医療サービスの提供をするとともに病院経営の健全化に努めます。



健康づくりの振興



「健康増進法」「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、特定健康診査(メタボリックシンドローム対策)を実施し、併せて藤枝市の特色を出した保健施策を推進していきます。

～ひと・まち・自然が美しく
夢と活力あふれる文化の都市を目指して～



平成20年度に取り組む 主な事業を紹介します

市の予算は、市のまちづくりの指針となる「第4次市総合計画・後期基本計画」に基づいて編成されています。平成20年度は、後期基本計画の3年目にあたり「ひと・まち・自然が美しく夢と活力あふれる文化の都市」を目指して、

3本柱

- 1.心ふれあう福祉と健康づくり
- 2.安全・安心のまちづくりと活力ある産業の振興
- 3.地域に根ざした教育・文化・スポーツの振興

以上の3つを重点施策の柱に掲げ、「住みよいまちづくりと市民福祉の向上」を目指していきます。

また厳しい財政環境の中で、第4次行財政改革大綱・新行動計画に基づき、より一層行財政改革を積極的に推進し、これまで以上に市民の皆さんの協力をいただきながら、山積する政策課題に全力を挙げて取り組んでいきます。



地域に根ざした教育・文化・スポーツの振興

★新規事業 ●継続事業

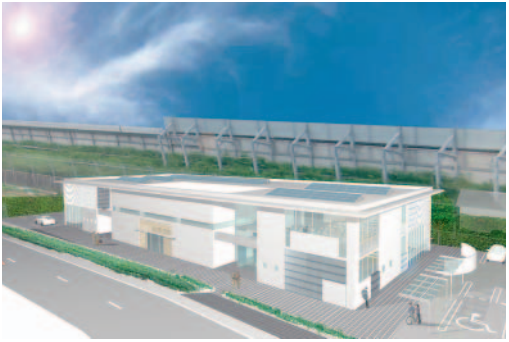
学校教育



- 軽度の発達障害を持つ児童・生徒に対して
特別支援教育【258万円】
- ★地震対策整備【6億60万円】
 - ・校舎耐震補強工事…葉梨小学校、西益津・広幡中学校
 - ・屋内運動場耐震補強工事…藤岡・大洲小学校
 - ・校舎耐震補強実施設計…藤岡・広幡小学校、藤枝・高洲中学校
 - ・屋内運動場耐震補強実施設計…葉梨小学校

社会教育

- ★高洲地区公民館の整備【5億5,200万円】
- ★大洲公民館の駐車場整備【800万円】
- ★人づくり・地域づくり人材養成事業【20万円】
- ★青少年育成リーダー活用事業【5万円】



高洲公民館完成イメージ図

市民参加のまちづくり

モデル事業として、市内の公民館のうち3公民館（大洲・稲葉・広幡）で、公民館長を地元の住民から選出し、公民館を拠点とした行政と地元との協働活動を推進していきます。

文化・スポーツの振興

- 平成21年度に開催される国民文化祭（国民体育大会の文化版といえる国内最大の文化イベント）、郷土博物館・文学館における展示会、子ども読書活動推進事業、平成20年度中の開館に向けた駅南図書館整備に取り組みます。
- ★駅南図書館の整備【4億6,815万円】
- 第24回国民文化祭準備経費【680万円】
プレ大会の開催経費などを藤枝・岡部実行委員会へ助成。
- ★スポーツ・健康フェスタへの助成【40万円】
- ★全国シニアサッカー大会への助成【100万円】
- ★大井川左岸河川敷（グラウンドゴルフ場）整備【5,000万円】



スポーツを通じて、市民の健康と交流を目的として行われたスポーツ・健康フェスタ

青少年の健全育成対策

補導員活動や青少年の健全育成に努め、チャレンジキッズ事業、放課後児童クラブとの連携を図りながら放課後子ども教室事業に取り組みます。

その他

- 平成21年1月1日の岡部町との合併のために電算システムの統合などを進めます。
- ★合併準備経費【5億6,899万円】

安全・安心のまちづくりと活力ある産業の振興

★新規事業 ◆拡大事業 ●継続事業

都市基盤整備



- 都市基盤整備として、青木・水守の土地区画整理事業の計画的な事業推進に努め、幹線道路網の整備を推進します。
- 志太中央幹線整備【4億3,000万円】
- 天王町仮宿線整備【2億2,000万円】
- 三輪立花線整備【3億5,000万円】
- ★交通バリアフリー事業【1,600万円】
モデル事業として、駅周辺道路の歩道と車道の段差を解消し、セミフラット化に取り組みます。
- ★駅前公園整備【2,000万円】
トイレ・遊具などの改修を実施し、引き続き駅南公園および総合運動公園の整備に取り組みます。
- ★公営住宅ストック総合改善事業【3,290万円】
トイレの水洗化や高齢化対応工事を実施します。
- ★自主運行バスの新規運行【7,460万円】
静鉄ジャストラインの一部路線廃止に伴う対策として、既存の自主運行バス路線の見直しと、新たに4路線（藤枝駅善左衛門線・藤枝駅平島線・大手市立病院線・藤枝駅光洋台線）の運行に取り組みます。



自主運行バス「ゆうゆう」

下水道事業

公共下水道事業は、浄化センターの水処理設備などの更新事業、管渠整備、農業集落排水事業は、平成21年度の供用開始を目指し、葉梨西北地区の処理場建設工事の推進を図っていきます。

防災・安全対策



- ★防災行政無線整備【5,117万円】
老朽化した同報無線親局の更新や子局の新設、J-ALERT（全国瞬時警報システム）を導入します。
※J-ALERTとは、衛星通信と市の同報無線を利用して、緊急情報を瞬時に市民の皆さんへ伝達するシステムです
- ★地域防災施設（備蓄倉庫）の整備【4,450万円】
青木区画整理区域内に整備します。
- ★公共施設の耐震対策【2,133万円】
岡出山図書館耐震補強工事、郡公会堂、田中集会所、谷稲葉中継センターなどの耐震診断を実施します。
- ★災害対応特殊救急車（高規格救急車）の導入【3,700万円】
東消防署に災害対応特殊救急車を配車し、市内全域を5台体制でカバーします。
- ◆AED（自動体外式除細動器）の配置【106万円】
市内全公立中学校9校と保健センターなど9カ所にAEDを新規に配置します。

商工業対策



- ★商店街事業への助成【1,970万円】
- ★中心市街地活性化の推進【771万円】
にぎわい創出と住みやすいまちづくりを推進し、民間の活力を生かしながら中心市街地の活性化の推進に取り組んでいきます。
- 工場用地可能性調査【4,000万円】
- ★設備投資等奨励補助金【647万円】
- ★創業支援資金利用者への助成【150万円】
- ★フーズサイエンスヒルズプロジェクト推進事業【100万円】
県などと共同で、食品・医化学品による生活習慣病の克服と地域産業への展開を図ります。
- 中小企業景気対策特別貸付金【1億2,000万円】